

## 基盤整備検討会からの報告

インフラ基本計画  
(中間とりまとめ)

## □社会潮流・現状

- 取り巻く環境・社会潮流
  - ・成熟社会の到来（人口減少、高齢化社会）
  - ・国際化・都市間競争の激化
  - ・環境問題への関心の高まり
  - ・羽田空港の国際化
  - ・神奈川東部方面線の開通

- 横浜駅周辺の現状と動向
  - ・首都圏有数のターミナル
  - ・まちとしての魅力は不足
  - ・災害に対する脆弱性
  - ・開発機運の高まり

⇒都市間競争を勝ち抜くため、エキサイトよこはま22に基づき、  
官民連携による開発及び基盤整備を推進する

## ◆ まちづくりのビジョン

## まちづくりの戦略

1. 横濱中心戦略

2. 環境創生戦略

3. 安全安心戦略

4. 感動空間戦略

5. 悠々回遊戦略

6. 交通転換戦略

7. 協働共創戦略

## 重点的なプロジェクト

- 世界に誇れる駅プロジェクト
- 交通転換・拡充プロジェクト
- 水のまちプロジェクト

## まちづくりの進め方

- まちづくりへの取組みと基本的なルールの共有化
- 民間と行政が連携・協働したまちづくりへの取組みに対する支援（施設整備に見合うインセンティブ付与等）

## ◆ 基盤整備の基本方針

## 施設整備の基本方針

## 駅・鉄道

## 駅前広場

## 歩行者空間

## 道 路

## 駐車場

## 自転車関連インフラ

## 治水

## 親水

## 環境

## 防災

## □将来歩行者流動の見通し

- ・人口減、神奈川東部方面線開通等による乗継ぎ流動の減
  - ・開発床の増、羽田空港の国際化等による鉄道から街への移動客増
- ⇒歩行者流動の質の転換  
(乗り換え→来街・回遊)

## □将来自動車流動の見通し

- ・横浜環状北線等の整備による通過交通の減
  - ・開発に伴う発生集中交通量の増
- ⇒自動車流動の質の転換（通過→来街）

## ◆ インフラ基本計画の方向性（インフラ基本計画（たたき台）イメージ参照）

## ■ 駅及び駅前広場にかかる取組み（駅構想図（たたき台）イメージ参照）

## 【国際化対応】

- 世界に誇れる駅プロジェクトの推進（機能強化、顔づくり）

## 【回遊性の向上、乗換え利便性】

- 歩行者ネットワークの形成
  - ・悠々回遊リンクの形成
    - 線路上空デッキ  
デッキレベルの南北動線
  - ・MM21など周辺市街地への歩行者動線の強化
    - ・中央通路と西口地下街の円滑な接続
- ターミナルコアの形成
- 鉄道施設の改良

## 【駅前広場の再編】

- 西口駅広の再編（路線バス乗降場集約化、タクシー乗場の分散配置）
- 東口駅広の再編（タクシー駅前移設、路線バス集約化やYCAT駅前移設などの再配置を検討）
- 国道1号交差点改良

## 【広域交通機能の強化】

- 成田・羽田アクセスの強化
- 首都圏各方面へのアクセス強化

□効果の検証（※1） (単位：万人/日)

⇒歩行者流動（※2）の増 (110→126 (+16))

(参考)鉄道利用者数（※3）の減 (160→149 (▲11))

## ■ 開発を支える主な基盤整備

- 【幹線、骨格道路の整備】
  - 広域幹線道路の整備（横浜環状道路等）
  - 地区内幹線道路の整備（北幸線、支線1号線）
  - 主要渋滞箇所の交差点改良（青木橋、浅間下、岡野）

## 【駐車場連携】

- 地下駐車場連絡路の整備
- 駐車場整備ルールの策定

## 【治水安全度の向上】

- 河口部の河川改修
- 下水道整備

## ■ その他駅×街空間にかかる主な取組み

- 【防災インフラの整備】
  - 滞留スペースの確保
  - 情報伝達システムの構築・整備

## 【親水空間の整備】

- 親水拠点や遊歩道の整備

## 【環境インフラの整備】

- 地域冷暖房施設の供給ネットワークの構築

## 【自転車関連】

- 走行環境改善、東西横断ルートの検討

- 開発にあわせた橋梁架け替え（鶴屋橋等）
- 敷地内貯留

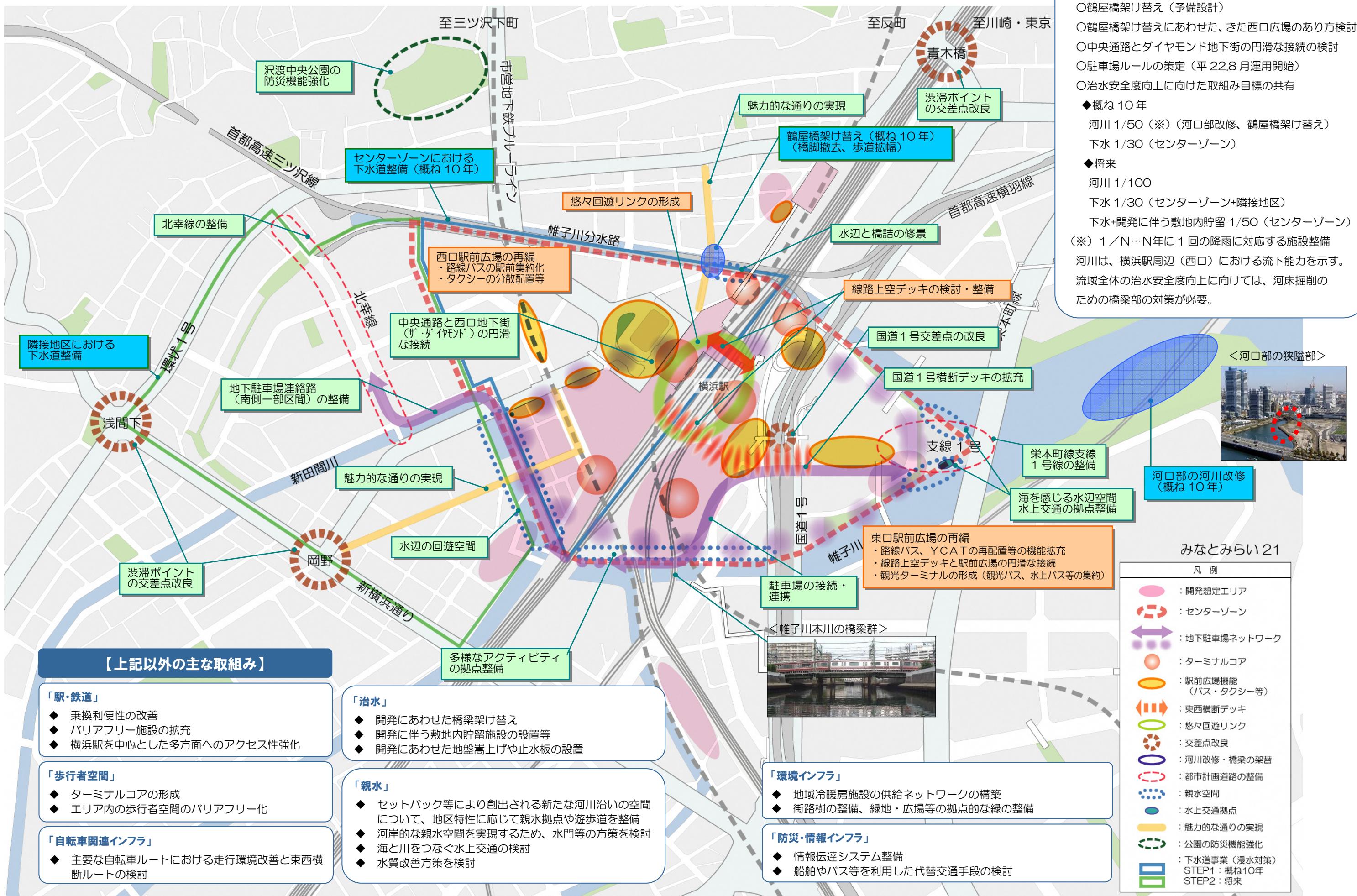
※1 平20年度の歩行者流動調査に基づく、歩行者推計（平日）

※2 T1+T2+T3

※3 T1×2+T2 (改札の通過数を示すため、乗継ぎ客は2人とカウント)

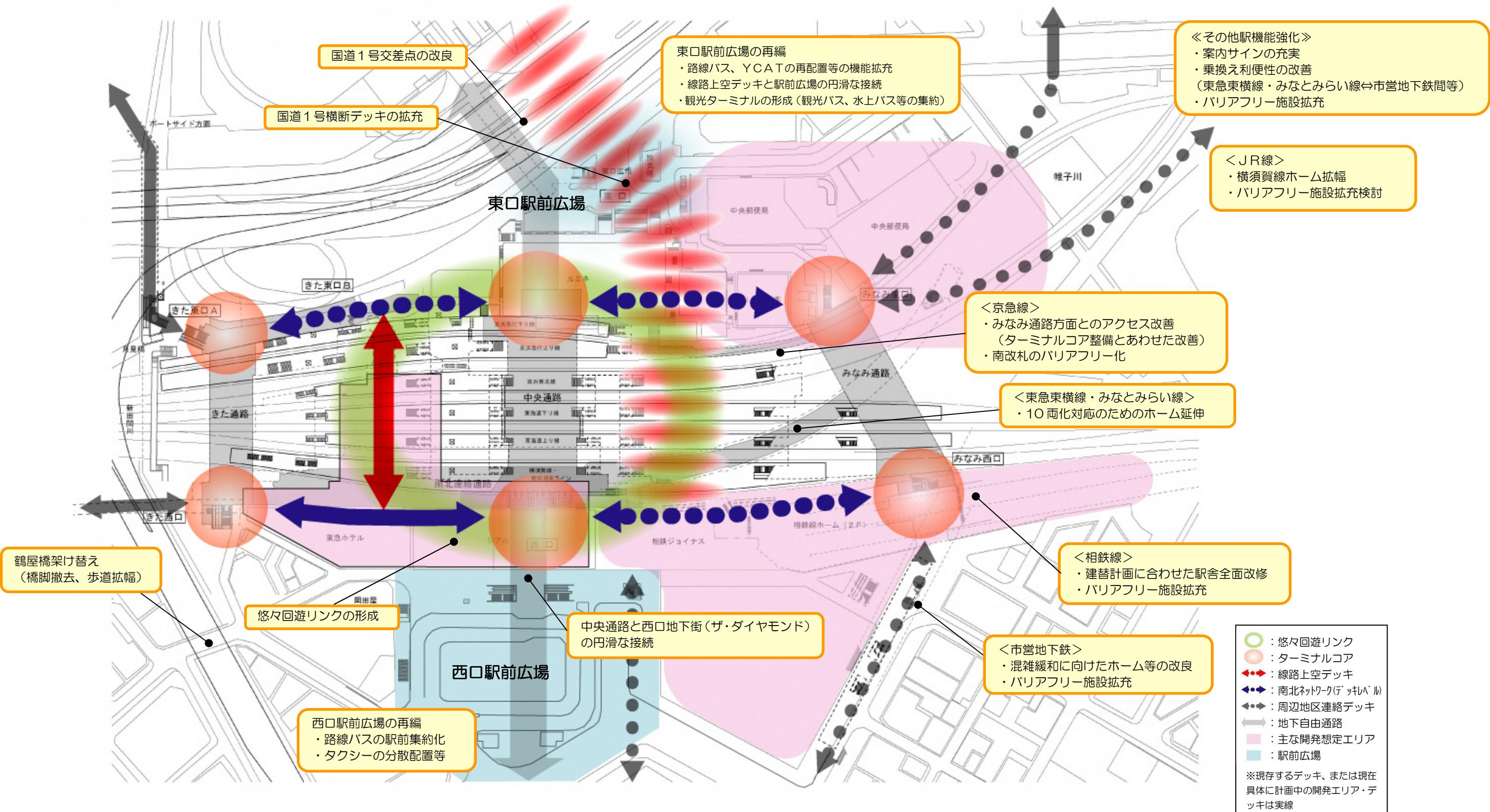
T1：自由通路を介し、駅改札間を出入りする歩行者流動  
T2：自由通路を介し、駅改札とまちを出入りする歩行者流動  
T3：まちからまちへの歩行者流動

## 【 インフラ基本計画(たたき台)イメージ 】



※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。

## 【駅構想図(たたき台)イメージ】



## 【線路上空デッキとターミナルコアの接続について】

- 線路上空デッキと各ターミナルコア間を円滑に接続するためには、デッキレベルの【南北ネットワーク】を確保することが重要。
- この南北ネットワークを介し、線路上空デッキから地上・地下をつなぐ一連の空間を【広義のターミナルコア】ととらえ、これらを円滑に接続することで、まちの回遊性向上に寄与する。

※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。